

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 北谷区

日 時 平成 20 年 1 月 23 日(水) 19:00 ~ 20:35

場 所 北谷公民館

出席者 (市 民) 32 人
(執行部) 16 人

井上市長、關教育長、石橋総務部長、三笠協働のまち推進担当部長、関岡市民生活部長、松永健康福祉部長、村尾子育て支援担当部長、富田建設経済部長、古川上下水道部長併会計管理者、松田教育部長、白石議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、小嶋広聴広報係長、高原主任主査、大藪協働のまち推進課長、諫山地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ (経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区長あいさつ (区長) 19:02 ~
- 3 市長あいさつ (市長) 19:03 ~
- 4 市職員自己紹介 (経営企画課長) 19:20 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(働のまち推進担当部長) 19:23 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換 (経営企画課長) 19:35 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ 20:33 ~ 20:35

	質問・意見等	市長回答
意見 1	<p>3年前の火葬場の契約更新時市長が当時助役であったころ、「"まちづくり"と一緒にやろうと」と言われたが、その後何もない。30年前の火葬場建設のときに揉めたことと全く変わらない。また40年後も同じことの繰り返しではないか。助役時代の「北谷区と打ち合わせる。」との発言に気持ちの変わりはないか。4車線化・下水道問題など色々あるが、それに対してはどうなっているのか。</p>	<p>第一期の北寿苑の条件整備は、確かに100%完了したとは言えません。平成16年3月の第二期の契約時における要望についても、実施できるものから実行します。原風景が残っている北谷区は後世に繋ぐ必要があり、景観が変わらないように、一方的なものではなく、協議し、ともに考え問題提起してもらいたいと思います。</p>
	<p>市長が助役の頃に「北谷のまちづくり」を言っていたが、その後何もなされていない。今後は、ある程度担当者との間で膝を交えて話し合いたい。過疎地でもあるし、30年前のことを若い人は知らないの、市も部長が定年したら困るので若い職員も一緒に会合を持ちたい。</p>	<p>了解しました。火葬場建設のときも何度も足を運び了解していただきました。協議は現在も行っていきますが、下水道整備についても計画的にまず執行部の皆さんにご説明し、さらに区民の皆さんへ事前説明を行いたいと思います。</p>
意見 2	<p>準都市計画の事業は、先刻の市長の「都市計画事業は完了した」との発言と矛盾すると思われるが如何か。</p>	<p>基盤整備全体が終わったわけではありません。大型事業の分、佐野地区、地区道路事業が一定終了しました。今後は、市民重視で、福祉などにも軸足を置きたいと考えています。</p>
意見 3	<p>一年に一度ぐらいは、火葬場の条件整備の進捗状況とかを知る機会を設けてもらえないだろうか。</p>	<p>場合によっては、担当課長、担当部長で対応することになるかも知れませんが、実施したいと考えます。</p>
意見 4	<p>3年、5年ごとに山が崩壊しており、危険を感じる。田んぼが水・土砂に覆われることがあるので、どうにかならないか。</p>	<p>平成15年に砂防事業は完了した。現在の状況は、確認する必要がある。所有者による管理が第一義的に行われる必要があると考えます。</p>

意見 5	<p>平成 15 年度の災害時に北谷川などの河川改修を行ってもらったが、直接風の影響を受ける場所の木が枯れる。河川工事までしてもら必要は無かった。</p> <p>砂防ダム工事のために県が伐採を行う際に伐採費用を徴収された。土地まで寄附した上にお金まで支払うことは初めてである。</p>	<p>平成 15 年度の災害に関連して、市の一般財源を 10 億円使って様々な整備をよかれと思って行いました。</p>
意見 6	<p>区から提出した払い下げの要望は、現在どうなっているのか。前向きに検討しているのか。不可能ならば代替地の検討は可能か。</p>	<p>要望が提出されていることは認知しています。4 車線化に伴うもので詳細はまだはっきりしていない。北谷区をどうするのかどう考えるのかを見極める必要があります。時間を頂きたいと思います。</p>
意見 7	<p>白地をどうしていくのか。</p>	<p>都市計画区域外のまちづくりはどうあるべきかと考える中で、内山・北谷は白地が望ましいという要望が強くありましたが、宝山山系の景観を壊さないよう、緑の資源を後世に残していかなければならないなど、節度あるまちづくりが必要と考えます。また時代の変化にも対応する必要があると考えます。一方的な市だけのイメージではなく皆さんとの協議が基本です。住民の皆さんが、この北谷をどうしていくのかを協働のまちづくりとして考えていく必要があります。</p>
	<p>空気が悪くなったように感じる。車や臭いに対して環境課の指導が必要ではないか。</p>	<p>了解しました。</p>
意見 9	<p>(区) 年少者の人たちが、財産組合についての</p>	

意見 10	赤字団体にはならず、4・5年で回復するとの話であったが、国の動向を見ると当てにならないのではないかと。国の補助金を当てにするのではなく、市として借金をどうやって減らして行くのか。	国の動き、日本経済、三位一体の改革、また道路財源の問題は、市でもマイナスの要素で1億5千万円ほどの減少が見込まれます。身の丈にあった行政を行う必要があります。環境税など税収を生み出す取組も行っています。市のためという理念に基づき、パチンコ店のたばこの自販機など市内の小売店から購入してもらうことや、税の滞納、給食費・保育料の滞納徴収強化などの取り組みなど、あらゆる収入を増やす努力をしています。
意見 11	職員を削減するのは、避けてほしい。市議会議員を減らしてほしい。民生委員や農業委員なども減らしてほしいのは、田んぼも減っているのに農業委員が減らないのはおかしい。	小さな行政、大きなサービスの観点で見直しを行っています。委員会を開催していないところは、予算を組まないなどの取り組みも行ってきました。市議会議員を減らす提案は、多くの市民から聞きました。市議会内部も同様の考えがあるので、恐らくいい方向で進むと思います。また働きかけを行います。
意見 12	まほろば号の通学無料化はできないか。	まず児童の安全の問題があります。まほろば号の助成の問題は努力しているところです。利用の促進を図る検討も行っており、2・3月には見直しを行い、利用しやすいように変更を行う予定です。ご利用をお願いします。
	北谷区は面積に比べて、人口が少ない。バスが一日に1便で増便の予定はないのか。北谷区以外の人、北谷に登ってくる仕掛けづくりが必要ではないか。	まちづくりの中で考える必要があります。内山区には梅林アスレチック公園と宝満山があり、仕掛け、施設、収容力があります。北谷区を考えると、ペンション、景観のよさ、蕎麦など掘り起こしを行い、ブランド化するなど、北谷区の特徴、景観を生かした

		<p>まちづくりが必要と思います。まほろば号について、北谷区の現在の便数を減らすことは考えていません。充実強化したいと考えます。</p>
--	--	--